



報道関係各位

平成 24 年 7 月 13 日

日本介護食品協議会

## 「ユニバーサルデザインフード」引き続き年率 2 ケタ増加

～生産量・生産金額とも大幅増、市販用に勢い～

### ◆ユニバーサルデザインフード生産量・金額各 115.0%、112.5%。市販用伸びる。

今般、日本介護食品協議会では、会員企業を対象に平成 23 (2011) 年のユニバーサルデザインフード生産統計を集計した。この結果、生産量 7,908 トン、生産金額 9,328 百万円で前年対比はそれぞれ 115.0%、112.5%と前年に引き続き大きく増加した。

### ◆ユニバーサルデザインフード製品登録数 802 アイテムに

ユニバーサルデザインフードの商品は、現在 802 品目が登録されており年々増加している。協議会の発足以降、利用者、食品メーカー問わずユニバーサルデザインフードについての問い合わせは頻度を増していることから、今後さらに生産量、アイテム数は増加して行くことが見込まれる。

### ◆「介護食品」の認知率増加

日本介護食品協議会は、介護食品やユニバーサルデザインフードの認知度調査を隔年で行っており、今回は平成 24 (2012) 年 5 月に実施した (前回は平成 22 (2010) 年 5 月)。調査対象はネットアンケートに参加した一般消費者で、食事介護者の有無や年代別に集計を行った。

この結果、介護食品が市販されていることを「知っている」との回答は「食事介護者あり」の世帯で 51.1%と前回の 31.3%から 19.8 ポイント増加した。



# 日本介護食品協議会・ニュースリリース

ユニバーサルデザインフード

<以下、各見出しの詳細>

## ◆ユニバーサルデザインフード生産量・金額各 115.0%、112.5%。市販用伸びる。

今般、日本介護食品協議会では、会員企業を対象に平成 23 (2011) 年のユニバーサルデザインフード生産統計を集計した。この結果、生産量 7,908 トン、生産金額 9,328 百万円で前年対比はそれぞれ 115.0%、112.5%と前年に引き続き大きく増加した。

区分別ではすべての区分で増加しているが、特に区分 4 の伸びが目立っている。これは、販売店舗の増加と商品設置面積の拡大等、取り扱いアイテム数の増加に起因しているものとみられる。また、流通タイプ別においても特に市販用に多い常温タイプの伸びが、販売先別においても市販用の伸びが各々著しい。この背景には、昨年を目立った動きとして、卸売業等流通関係者から量販店等へユニバーサルデザインフード商品の販売提案が積極的になされたことがあげられる。これら業態では、今後の消費者層に介護食品需要を見込むと同時に、企業の社会的責務といった側面からも品ぞろえに力を入れはじめているものとみられる。このように販売環境が整ってきたことで、市販用・業務用の割合は市販用が 4.6 ポイント増 (金額ベース) の 22.8%、業務用が 77.2%となった (別添図表参照)。

## ◆ユニバーサルデザインフード製品登録数 802 アイテムに

ユニバーサルデザインフードの商品は、現在 802 品目が登録されており年々増加している。

【UDF 商品登録状況 (802 品目・平成 24 (2012) 年 5 月末現在)】

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	0	2	0	52	54
冷凍食品	104	44	346	12	0	506
常温食品	14	47	114	66	1	242
合計	118	91	462	78	53	802

協議会の発足以降、利用者、食品メーカー問わずユニバーサルデザインフードについての問い合わせは頻度を増していることから、今後さらに生産量、アイテム数は増加して行くことが見込まれる。

## ◆「介護食品」の認知率増加

日本介護食品協議会は、介護食品やユニバーサルデザインフードの認知度調査を隔年で行っており、今回は平成 24 (2012) 年 5 月に実施した (前回は平成 22 (2010) 年 5 月)。調査対象はネットアンケートに参加した一般消費者で、食事介護者の有無や年代別に集計を行った。

この結果、介護食品が市販されていることを「知っている」との回答は「食事介護者あり」の世帯で 51.1%と前回の 31.3%から 19.8 ポイント増加した。

また、「ユニバーサルデザインフードを知っているか」については、「食事介護者あり」が17.0%で前年の9.4%から7.6ポイント増加した。

「介護食品の認知率」の年代別集計では、20代が26.5%（前回29.0%）、30代29.0%（同26.0%）、40代36.0%（同29.5%）、50代37.5%（同42.5%）、60代43.0%（同43.0%）と年代が上がるにつれ認知率が高まっている。「ユニバーサルデザインフードの認知率」については20代6.5%（前回12.0%）、30代7.0%（同6.0%）、40代8.5%（同5.0%）、50代5.0%（同6.5%）、60代7.0%（同7.0%）と、年代とともに高まる傾向はあるが、40代での認知率が高い。

## 【調査方法等】

- ① 調査方法 インターネットアンケート
- ② 調査対象 インターネット調査会社（ネットマイル社）に登録している全国の一般モニター会員1,000人（20歳代～60歳代以上・男女各100名）
- ③ 調査期間 平成24年5月25日
- ④ 調査結果 一般消費者の「介護食品」の認知度は34.2%であった。

## 【問 あなたは介護食品が市販されているのをご存知ですか】全体34.2%（前回34.0%）

<食事介護者の有無による集計>

- ・食事介護が必要な方がいる世帯 51.1%（前回31.3%）
- ・食事介護が必要な方がいない世帯 32.6%（同31.3%）

<年代別集計>

- ・20代26.5%（前回29.0%）、30代29.0%（同26.0%）、40代36.0%（同29.5%）、50代37.5%（同42.5%）、60代43.0%（同43.0%）

## 【問 あなたはユニバーサルデザインフードをご存知ですか】全体6.8%（前回7.3%）

<食事介護者の有無による集計>

- ・食事介護が必要な方がいる世帯 17.0%（前回9.4%）
- ・食事介護が必要な方がいない世帯 5.8%（同6.1%）

<年代別集計>

- ・20代6.5%（前回12.0%）、30代7.0%（同6.0%）、40代8.5%（同5.0%）、50代5.0%（同6.5%）、60代7.0%（同7.0%）



# 日本介護食品協議会・ニュースリリース



## ユニバーサルデザインフード生産統計

日本介護食品協議会

		平成20(2008)年		平成21(2009)年		平成22(2010)年		平成23(2011)年	
		数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
区分	1	525	514	813	707	849	761	958	951
	2	410	409	402	413	509	504	609	591
	3	2,217	1,991	2,585	2,583	3,215	3,154	3,619	3,496
	4	1,415	920	1,016	814	1,118	948	1,432	1,221
とろみ		912	2,440	1,065	2,710	1,185	2,927	1,290	3,070
合計		5,479	6,274	5,880	7,226	6,876	8,293	7,908	9,328
タイプ別	乾燥	912	2,440	1,091	2,789	1,217	3,023	1,322	3,168
	冷凍	2,058	1,753	2,066	2,065	2,455	2,454	2,728	2,837
	常温	2,510	2,081	2,724	2,373	3,204	2,817	3,858	3,323
合計		5,479	6,274	5,880	7,226	6,876	8,293	7,908	9,328
販売先別	市販	976	1,093	1,099	1,287	1,306	1,509	1,785	2,128
	業務	4,503	5,181	4,782	5,939	5,569	6,784	6,123	7,200
合計		5,479	6,274	5,880	7,226	6,876	8,293	7,908	9,328

※暦年集計

※金額は出荷ベース

### ユニバーサルデザインフード平成23(2011)年生産量・金額前年対比

		平成23(2011)年		平成22(2010)年		11/10年対比		11/09年対比	
		数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
区分	1	958	951	849	761	112.8	125.0	117.8	134.5
	2	609	591	509	504	119.8	117.3	151.6	143.0
	3	3,619	3,496	3,215	3,154	112.6	110.8	140.0	135.3
	4	1,432	1,221	1,118	948	128.1	128.8	141.0	150.0
とろみ		1,290	3,070	1,185	2,927	108.8	104.9	121.1	113.3
合計		7,908	9,328	6,876	8,293	115.0	112.5	134.5	129.1
タイプ別	乾燥	1,322	3,168	1,217	3,023	108.7	104.8	121.2	113.6
	冷凍	2,728	2,837	2,455	2,454	111.1	115.6	132.1	137.4
	常温	3,858	3,323	3,204	2,817	120.4	118.0	141.6	140.1
合計		7,908	9,328	6,876	8,293	115.0	112.5	134.5	129.1
販売先別	市販	1,785	2,128	1,306	1,509	136.6	141.0	162.4	165.3
	業務	6,123	7,200	5,569	6,784	110.0	106.1	128.1	121.2
合計		7,908	9,328	6,876	8,293	115.0	112.5	134.5	129.1

※本統計は日本介護食品協議会会員企業の「ユニバーサルデザインフード生産統計」です。介護食品全体の市場規模を表すものではありません。

※平成22年の集計値に誤りがありましたため修正いたしました(合計7,012トン→6,876トン)。

図1 ユニバーサルデザインフード生産量・生産金額の推移

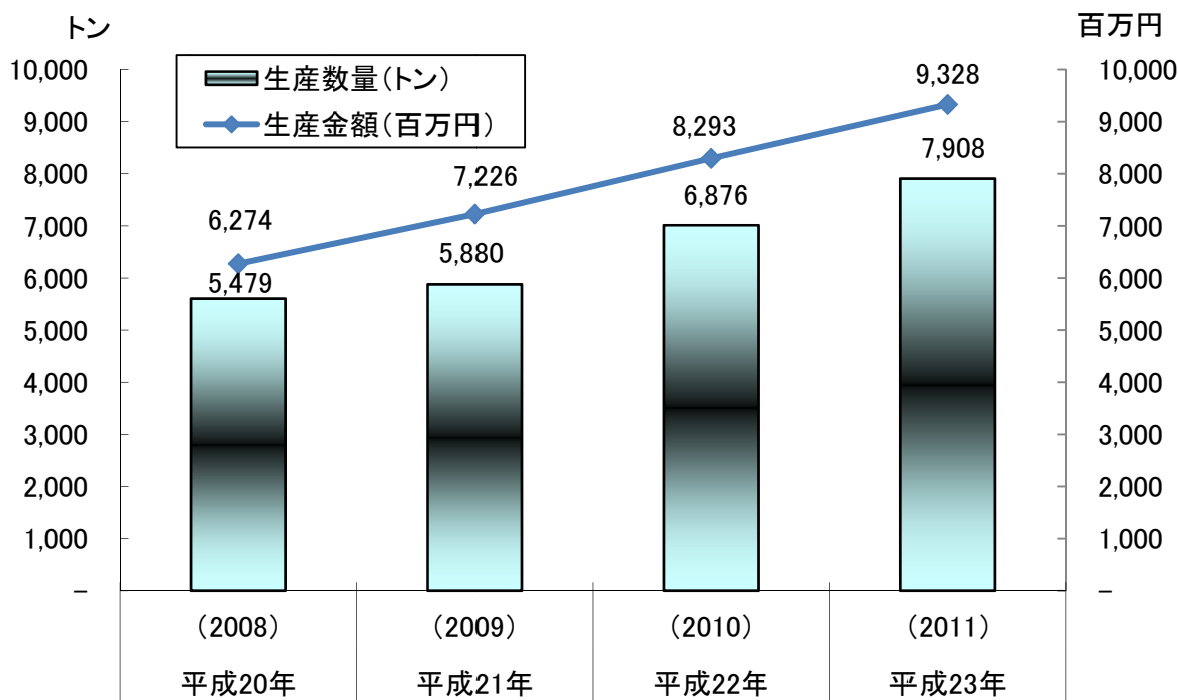
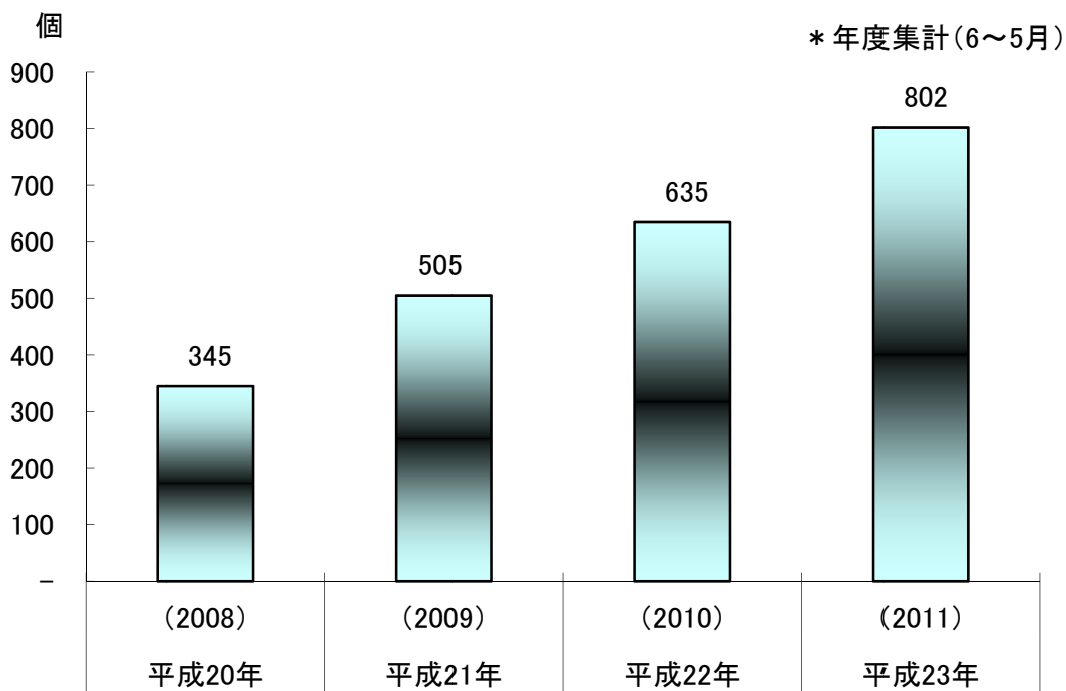


図2 ユニバーサルデザインフード商品登録数の推移





ユニバーサルデザインフード

## 日本介護食品協議会・ニュースリリース

### 「日本介護食品協議会」について ～介護食品の規格を統一～

我が国は「超高齢社会」をむかえましたが、以前より各食品メーカーでは「介護」シーンでの利用を考慮した食品の開発や販売を行ってきました。しかし、当初の「介護食品」はメーカーによって製造に関する規格や表示方法が異なるため、利用者の不便が指摘されていました。

そこで、これら利用者の不便を解消するため、食品メーカーを中心に、素材や容器など多くの企業が集まり、『日本介護食品協議会』を設立（2002年4月）し、介護食品の「食べやすさ」「使いやすさ」などについて「統一規格」を制定しました。協議会ではその規格に適合する商品をすべての人が食べやすいことから「ユニバーサルデザインフード」とし、以降、次々と「ユニバーサルデザインフード」のロゴマークを表示した商品が誕生、現在もその数は増え続けています。

協議会では、「ユニバーサルデザインフード」をすべての利用者に安心して使っていただくために、関連する情報の発信や普及啓発活動、自主規格の整備などを行い介護食品業界の健全な発展を目指すとともに、みなさまの食べる楽しみを通じて QOL（クオリティーオブライフ・生活の質）の向上に貢献していきたいと考えています。

### 「ユニバーサルデザインフード」とは

日常の食事から介護食まで幅広くお使いいただける、食べやすさに配慮した食品です。その種類も様々で、レトルト食品や冷凍食品などの調理加工食品をはじめ、飲み物やお食事にとろみをつける「とろみ調整食品」などがあります。

ユニバーサルデザインフードのパッケージには、必ず UDF マークが記載されています。これは日本介護食品協議会が制定した規格※に適合する商品だけについているマークです。お客さまが選びやすいよう、どのメーカーの商品にも「かたさ」や「粘度」の規格により分類された4つの区分を表示しています。この区分を目安にご利用に適した商品を安心して選んでいただけます。まずはパッケージの UDF マークをご覧ください。

日本介護食品協議会会員である食品メーカーはこの規格に基づき商品を製造・販売しています。

#### 【問合せ先】

日本介護食品協議会 事務局

〒101 - 0042 東京都千代田区神田東松下町 10 - 2

翔和神田ビル 3階（日本缶詰協会内）

電話 03 - 5256 - 4801 F A X 03 - 5256 - 4805



ユニバーサルデザインフード